

龍ヶ崎の文化・5月号

平成24年4月25日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-mail pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

+

老後が心配ですね



「核家族」を一人で支えることのできる男性が激減し、核家族を支えるために働く女性が増えています。女性が家庭内で担って来た介護は、介護サービス等を利用するようになりました。しかし、国は、財政難を理由に介護サービスを減らしていますが、介護のニーズが消えるわけではありません。むしろ、働く主婦にその負担が重くのしかかって来ています。

急速に高齢化が進んでおり、高齢者を支える若者が少子化で激減しています。100歳の金さん銀さんも「老後が心配」と、話していたように、これでは、おちおち年も取れないですよ。

主婦の就労率は非常に高いですが、経済的には恵まれていません。保育や、介護に生じる格差を緩和し、働く女性と子どもを支援する公的サービスが必要ではないでしょうか。格差や貧困を次の世代に残さないためにも国の支援をお願いしたいものです。

認知症は予防ができる？

講演会でも良く聞かれる言葉に「認知症、いやな言葉だけど避けて通れないよね」「認知症にだけはなりたくない」と。

後期高齢者に足を踏み入れると認知しょうが心配になりますよね。認知症の根本治療ができる薬の開発が世界中で期待されていますが、難しいようです。なら、予防はできないもののでしょうか？

脳卒中対策が進み、脳血管性認知症が減りました。アルツハイマー病もある程度、予防ができることが分かってきました。高血圧、メタボ、糖尿病のような生活習慣病や、喫煙、大量の飲酒、運動不足、人付き合いが少ないといった生活習慣を改めることがいいようです。

夫の付き添いで病院に行きました、その病院に「病気を見ないで、患者を診なさい」というような内容のことが書かれていました。私たちは、何とかしなければ、治さなければと、認知症の症状ばかり見ていないでしょうか？

97歳になる母は、認知症状は進んでいます。でも、生きてゆくには大切な「食べて、寝て、排泄」は、ゆっくりながら一人で出来ます。認知症が進んでいても、介護の手を必要としないのなら、認知症でもいいのですよね。

今日も、トンチンカンな会話で笑い、快食・快眠・快便で、家族に囲まれ気ままな日々を楽しく送っています。こんな老後も選択技にあってもいいのではないかと、そんな気がしています。

5月の予定

回想ガイド活動は、1日（火）15日（火）、18（金）

昔の遊び体験教室は、26日（土）田植えの予定です

開催場所は、歴史民俗資料館

開催時間は、13時30分～15時30分です